

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	---	----------	-----------

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	678	製材事業所跡地維持管理経費	会計	01	一般会計	
基本施策	66	文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	款	02	総務費	
施策	1	公共施設の利便性向上	項	01	総務管理費	
			目	05	財産管理費	
			細目	101	市有財産管理経費	
			細々目	05	製材事業所跡地維持管理経費	
基本計画該当頁	210		コード	600100		評価者
行革大綱の重点事項番号		担当部課	名称	島ヶ原支所 総務振興課	氏名	大谷 泰紀
					連絡先	59 - 2053 (内線) 11

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
1.旧製材事業跡地、地域住民 2.旧製材事業所が建築した住宅(完成引渡しから10年間義務化)、居住者 (※対象件数 1:1箇所 2:23件)		1.適切な維持管理をすることで、環境保全や防犯対策を促進する。 2.住宅に瑕疵があった場合、一定の予算を確保していることで早急に修繕が行え、住宅の安全性の確保と施主との信頼性を維持することができる。
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		住宅の品質確保の促進等に関する法律
事業内容	1.平成18年3月末をもって閉鎖した製材事業跡地の維持管理を行う。 2.建築物の請負人であった製材事業所は「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づき、住宅の基本構造部分に10年間の瑕疵担保責任が義務付けられています。このため、施主より瑕疵を指摘された物件については建築士などで構成される「(仮称)瑕疵物件審査会」によりその適否を審査し、修繕工法等を検討のうえ修繕工事を発注する。	状況変化等 1、老朽化していた市有地上建物は平成18年9月に解体を終え、事務所・便所のみを残し更地となった。 なお、更地化した跡地は、島ヶ原会館等公共用施設の駐車スペースとして利用している。 2、製材所建築による瑕疵を指摘された物件はない。(対象23件)

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
建築建物の瑕疵による苦情処理件数	件	目標	—	目標	0
		実績	0	実績	0
		目標	—	目標	
		実績		実績	
		目標	—	目標	
		実績		実績	
		目標	—	目標	
		実績		実績	
		目標	—	目標	
		実績		実績	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(島ヶ原地域まちづくり協議会)
2 配置(予定)人員	1 人
3 年間運営費	200 千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
駐車場利用台数	地域住民の憩いの場や近隣公共施設の駐車場不足解消として機能するか利用台数で計る。	台	目標	目標	1300	1300
建築建物の瑕疵による苦情処理件数	建築建物の瑕疵ゼロを目標とし、苦情処理件数で計る。	件	目標	0	0	0
			実績	0	0	

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	1、広大な跡地を現状のままにしておくことは景観を損ねるばかりでなく防犯上も問題があり、適切な維持管理が求められる。 2、建築完成引渡しから10年間に瑕疵があった場合、保証の義務を負う。
有効性	3	1、旧工場の解体を実施することにより、安全を図ることができた。(市有地分) 2、居住者の安全を確保することができる。
達成度	3	1、市有地に建った施設は解体できたが、跡地利用については決定に至っていない。 2、建築物への瑕疵は指摘されておらず、住宅の品質については信頼性が確保されている。
効率性	2	1、跡地の整備後は地域団体に管理委託できる見込みであり、効率的に業務が行うことができる。 2、一定の予算が確保されていることで、瑕疵があれば早急に対応できる。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
B	現状維持	1、借地分の建築物を解体撤去のうえ返却し、市有地については地域の施設として意識が高められるよう島ヶ原まちづくり協議会と協力しながら維持管理を行う。 2、建築にかかわる瑕疵については、随時対応できるよう動める。

進捗状況	年度	委託	工事	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容		
				事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
事業内容				瑕疵担保修繕工事費	0		0	瑕疵担保修繕工事費	1	式	650	瑕疵担保修繕工事費	1	式	650
				草刈業務委託料	2	箇所	81	草刈業務委託料	1	箇所	97	草刈業務委託料	2	回	189
				工場解体工事費	1	式	4,561	砕石敷均工事費	1	式	410	土地借上料	1	式	550
				防護柵設置費	1	式	100	土地借上料	1	式	1,100	その他事務経費	1	式	112
				土地借上料	1	式	1,100	下水道加入員金	1	口	380	造成工事費	1	式	5,769
				基金積立金	1	式	199,202	その他事務経費	1	式	32				
				その他事務経費	1	式	409								
進捗率(%)				事業費計(A)	Σ	205,453	事業費計(A)	Σ	2,019	事業費計(A)	Σ	7,270	事業費計(A)	Σ	1,151
事業投入人員				人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)						209,053					7,990				1,871

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	205,453	2,019	7,270	1,151
国庫支出金					
Aの財源内訳					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他	205,453		2,019	7,270	1,151
一般財源	0		0	0	0
計	205,453		2,019	7,270	1,151
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	特定財源:地域振興基金繰入金	特定財源:地域振興基金繰入金	特定財源:地域振興基金繰入金	特定財源:地域振興基金繰入金